

株式会社十八親和銀行 取締役頭取 森 拓二郎



長崎経済研究所は平成元年の創立以来、長崎県内の経済・社会・産業動向などに関する調査研究および企業経営や県民の生活のお役に立つ情報を提供するとともに、官民の各種プロジェクトへの参画など、地域振興への貢献を目的に事業を展開してまいりました。

また、十八銀行と連携しながら十八銀行社会開発振興基金（現十八親和ふるさと振興基金）等の文化事業や国際交流事業に携わるとともに、長崎サミットの事務局をはじめ様々な経済・文化団体の事務局として様々な活動に携わってきました。近年では、企業・生活者アンケート等のWEB化推進やITコンサルティング事業にも携わるなど、貢献活動の幅を広げております。

長きにわたり当社が事業を営むことができたのも、ひとえに皆さまのご支援の賜と衷心より感謝申し上げます。

そのような中、当行は2020年10月1日に親和銀行と合併し、十八親和銀行を発足いたしました。

十八親和銀行は、設立の理念として、「①地域経済活性化と企業価値向上の同時実現」、「②長崎県内企業の成長への貢献」、「③顧客満足度NO.1銀行」を掲げております。

新銀行は、経営統合や合併を通じて得られるシナジー効果を地域に還元し、FFGグループの総合力を発揮することによって、長崎県経済の発展に貢献する「顧客満足度NO.1銀行」を目指してまいります。

長崎経済研究所につきましても、これまで以上に新銀行ならびにFFGグループとの連携を強化するとともに、新型コロナウイルスの影響など取り巻く環境の変化や社会動向を的確に捉え、今後とも地元企業や地域の皆さまをはじめ行政等との連携を緊密にし、様々な事業展開を図りながら地域経済、社会の振興・発展のために寄与してまいり所存でございます。

引き続きご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。